

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事		平成 24 年 7 月 30 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府京田辺市甘南備台3丁目17-1		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） ニッタ・ハース株式会社 代表取締役社長 木下正治
環境マネジメントシステムの名称	JIS Q 14001:2004(ISO 14001:2004)	
適用範囲	ニッタ・ハース株式会社 京都工場、三重工場、大阪本社、東京支店	
導入年月日	2001年3月28日	
認証番号	JUSE-EG-045	
基本方針	地域及び地球環境への影響を考慮して、環境負荷を限りなく低減し、環境汚染予防に努めます。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	①エネルギー使用量を対前年比で原単位1%削減 ②廃棄物の削減 ③緊急事態訓練実施	
目標を達成するための取組の内容	①製造ラインを高効率照明への変更。昼休みの事務所消灯継続する。屋外室外機への散水(夏場のみ)を実施する。夏場の節電要請期間中に自動販売機稼働台数削減する。 ②特別管理産業廃棄物(廃油)の自己再生。製品の歩止まり向上及び不良率の削減。 ③漏洩する可能性がある作業場所での実地訓練	
目標を達成するための取組の進捗状況	①製造ラインを高効率照明への変更完了。 昼休みの事務所消灯継続中。室外機への散水(夏場のみ)実施済。 自動販売機5台を停止した。 ②特別管理産業廃棄物(廃油)の自己再生が可能になった。 製品歩止まり及び不良率は昨年より悪化している。 ③漏洩する可能性がある作業場所での実地訓練。天災時の漏洩も設定した。	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	作成した計画(省エネ、緊急事態訓練)のとおりに取り組んでいる。廃棄物に関しては、特別管理産業廃棄物の自己再生ができるようになり排出量削減をできたが、製品の歩止まり及び不良率が昨年より悪化した。	
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境法規制要求事項一覧表を使用して、年1回定期見直しを実施している。 条例や法改正は事務局が情報収集し、各部門へ伝達している。	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	毎年1回内部監査を実施し、また外部機関からも毎年1回監査を受けている。その結果もとに評価・見直しを実施している。	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。